



第41回特別展

鮭と川と人と

斜里町の重要な水産物であるサケ。しかし、サケの重要性や魅力は単に水産物ということだけにとどまりません。この特別展では、サケが大昔から川をのぼり、支えてきた自然、産業、文化、歴史などについて紹介します。▶期間：10月7日(水)～12月20日(日)▶会場：交流記念館ホール(知床博物館となり)▶特別展のみの観覧は無料です。



特別展ギャラリートーク

特別展の見どころを三浦学芸員が紹介します。▶日時：11月15日(日) 9:30～10:30、13:30～14:30▶集合：交流記念館ホール(博物館となり)

特別講演会

サケの現在と未来

～今私たちにできること～

斜里町を含むオホーツク地域において重要な水産物であるサケ。しか

し近年、漁獲量が減るなど、資源量が大きく変化しています。サケが育つ海で今何が起きているのか?サケの産卵と川環境の関係とは?地域における資源維持、回復のための取り組みは?今回の講演会では、最新の知見や事例を紹介しつつこれからのサケとのつき合い方を考えます。▶主催：斜里町立知床博物館協力会▶日時：2020年11月8日(日) 13:30～16:30▶会場：ゆめホール知床(公民館ホール)▶申込先：知床博物館(0152-23-1256)▶講演者：帰山雅秀氏(北海道大学)・宮腰靖之氏(北見管内さけ・ます増殖事業協会)・ト部浩一氏(北海道立総合研究機構)・森高志氏(斜里町役場水産林務課)▶本講演会は北海道、北海道コカ・コーラボトリング(株)、(公財)北海道環境財団の三者による協働事業「北海道e-水プロジェクト」の支援を受けて実施▶参加無料



北海道e-水プロジェクト

施設見学会

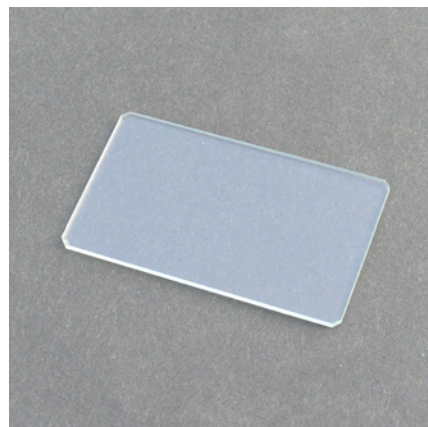
なつかしの小学校に行ってみよう!

農業資料等収蔵施設は、斜里町にゆかりある農機具や漁具、生活の道具、学校資料を集めて収蔵し、施設の一部で展示をします。収蔵している大型の農業資料や展示の見学をします。▶日時：11月15日(日)

(1) 11:00～12:00、(2) 15:00～16:00▶定員：各回15名(要申込)▶申込先：知床博物館(0152-23-1256)▶集合場所：農業資料等収蔵施設(旧朱円小学校)▶参加費：無料▶服装：暖かい服装



学芸員のイチオシ



岩石鉱物用スライドガラス

岩石や鉱物を研磨して薄片を作る時に使います。たて×横×厚さは生物用のスライドガラスが26×76×1(mm)に対して岩石鉱物用のは28×48×1.3(mm)の大きさです。横が短く資料を研磨する時に扱いやすいサイズで、また厚く丈夫にできています。(合地)

休館日 11月の休館日は2・3・9・16・23・24・30日です。

編集後記 特別展初日は約80名の方が来館されました。初日としては過去最高の来場数のはず!まだの方は寒くなる前にぜひ。(平)